文部科学省 地(知)の拠点 ふるさといわて創造プロジェクト

ふるさといわて創造レター

FURUSATO IWATE SOZO LETTER

2019. 07 第15号

［発行者］ふるさといわて創造協議会事務局　岩手大学COC推進室　Tel. 019-621-6053 E-mail cocplus@iwate-u.ac.jp

最終年度となる今年度の取組や体制について

ふるさといわて創造プロジェクトは最終年度を迎え、主要財源である国庫補助金は以前の1/3となり、より効率的な取組が求められております。

今年は国の中間評価結果を踏まえ、これまでの取組を次の2つに集約して相互の連携が見える形で取り組むこととします。

①学生が地域を知る取組：授業等での地域を知る学修、自治体と連携したバスツアーやものづくり企業見学会、ふるさと発見！大交流会in Iwate、多様なインターンシップなど

②地域リーダー・起業家人材の育成：「いわてキボウスター開拓塾」による起業家人材の育成やグローカル人材の育成支援など

プロジェクト全体の窓口となる岩手大学COC推進室も八代仁室長が退任、赤木徳顕特任教授及び船場ひさお特任准教授が退職し、新室長に比屋根哲副学長が、いわてキボウスター開拓塾専任マネージャーに近藤弘和氏が着任したほか、新たに客員教員体制を整備し、3月に退職した特任教員のほか、高橋、穴田のお二人の専門家を客員教員として委嘱しました。

なお、所在地も次の場所に引っ越ししましたので、お気軽にお訪ねください。

【新住所】〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5
岩手大学地域連携推進センター棟1階 岩手大学COC推進室
※電話、ファクス番号は変更ありません。

岩手大学COC推進室教職員紹介

COC推進室長
比屋根　哲

八代先生に代わり、4月から副学長としてCOC+事業を担当することになりました。COC+事業では、地域志向科目の充実をはじめ、「ふるさと発見！大交流会in Iwate」、「いわてキボウスター開拓塾」、「地域志向型インターンシップ」等、まさに「地（知）の拠点」にふさわしい多彩な取組が行われてきたと思います。今年は事業の最終年度として、今後の体制等も考えながら事業の推進に努力したいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いします。

特任専門職員
いわてキボウスター開拓塾運営マネージャー
近藤弘和

初めまして。この度4月から、いわてキボウスター開拓塾マネージャーを拝命しました近藤弘和と申します。

地域課題の発見、抽出から、問題を地元の方々と協働して解決していくことで、学生の課題発見及び解決能力を涵養することを目指していきます。

微力ながらこれまでの経験を活かして学生のフォロー、相談、導き手として職務に励み、ミッションの達成のために尽力いたします。皆様のご指導の程よろしくお願い申し上げます。

客員准教授
いわてキボウスター開拓塾担当
高橋和氣

このたび生まれ育った地域の大学で客員として参画させていただき、とても光栄に思っています。民間企業での経験しかなく「教育」については全くの初心者ですので、先生方や学生の皆さんからこちらが学ばせていただく気持ちで取り組んでいこうと思います。

客員准教授
地域志向型インターンシップ担当
穴田光宏

2016年に岩泉型インターンシップを始めて以来、同様の取組が県内に広まり、地域志向型インターンシップとして根付きつつあります。学生達に地域で働くこと、地域で暮らすことを伝えるため、更なる充実のお手伝いをしたいと思います。よろしくお願い致します。

地域志向型インターンシップについて

本プロジェクトでは学生に岩手県内中山間地域への関心を高めてもらうため、働くことだけでなくそこで暮らすことを体験する「地域志向型インターンシップ」に取り組んできました。これまで「地域志向型インターンシップ」は主に県内大学生を対象に実施してきましたが、今年度は首都圏協力大学の学生にも参加を呼びかけ、バックグラウンドの相違する多様な学生が集うことで教育効果の向上や制度の充実を目指しています。県内各地で様々なメニューを展開しており、例えば一関地域では「いわてキボウスター開拓塾」の卒塾生が受入企業側として企画に関わっている農業特化型のインターンシップを実施予定です。

「ふるさと発見！大交流会 in Iwate 2019」を開催します

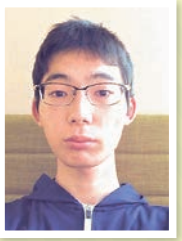
一昨年、昨年と開催し好評を頂いた学生と県内企業等との交流イベント「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」。今年度も 11 月 23 日（土・祝）に昨年と同じ岩手産業文化センター（アピオ）で開催することが決定しました。今回も学生実行委員会が出展団体への事前取材や当日の進行等、企画運営全般に主体的に携わり、学生目線を活かしたイベントを目指します。詳細については決定次第、本プロジェクト HP でお知らせします。

第6期いわてキボウスター開拓塾を開講しました

4 月 27 日、第 6 期いわてキボウスター開拓塾の開講式が岩手大学農学部附属農業教育資料館で行われ、今期の取組がスタートしました。

今期のメンバーは岩手大学 24 名（院生 3 名含む）、岩手県立大学 4 名、富士大学 1 名、盛岡大学 3 名の合計 32 名とこれまでで最多の参加者数となりました。学年別では 1 年生が 10 名と最も多く、大学に入ったばかりのフレッシュな人材が多く参加しているのが特徴です。

また、10 名の学生が第 5 期から継続して参加しており、今期はその継続参加の第 5 期生のビジネスアイディアを基にチームを組織して実践的なフィールドワークやマーケット調査、先行事例調査等によりビジネスプランの完成を目指しています。



参加学生の声

富士大学経済学部
経営法学科1年
多 田 尚 平

私は大学生活で将来やりたいことを探している中で、やはり実家の農業をやりたいと思っていました。そんな時、ちょうど教授からキボスタを紹介されて「ここでなら農業についての知識の獲得や人脈形成ができる。」と思い、参加することにしました。私が入った農業チームでは農家の所得を上げることを目標に、農業版オムニチャネルの形成、農家、消費者、料理人のコミュニティ作りに取り組んでいます。具体的にはアンケートによって消費者の農業に対するニーズを知り、イベントを通じて農家、消費者、料理人の関係作りのお手伝いをしたいと考えています。この活動の中で私は多くの人と交流し、様々な考えや知識を得ることで自分の世界が広がっていくことを実感しています。今後も多くのことを経験して、自分の生き方に活かしていきたいと思います。

外部評価委員会を開催しました

6 月 10 日、平成 30 年度ふるさといわて創造プロジェクト活動実績について第三者による客観的な評価を行う外部評価委員会を岩手大学で開催しました。

当日は委員 5 名のうち、共愛学園前橋国際大学長 大森昭生氏（委員長）、一般社団法人 RCF 秋保裕子氏、弘前大学副理事 曽我亨氏、東北経済産業局地域経済部地域経済課長 遠藤憲子氏の 4 名にご出席頂きました。

小野寺純治 COC+ 推進コーディネーターより自己点検評価に基づき昨年度の実績について説明を行ったのち、各委員から意見・質問を頂きました。

委員からは、これまで展開してきた様々な取組の中から、特に「ふるさと発見！大交流会 in Iwate」のような学生が地域を知る取組と「いわてキボウスター開拓塾」のような地域リーダー・起業家人材育成の取組に的を絞って注力することで成果が明確になった点を高く評価頂きました。

今回の評価結果を踏まえ、今後も引き続き関係機関との連携を図りながら取組を展開していきます。

平成 30 年度県内就職率について

参加高等教育機関の平成 30 年度県内就職率は 44％と平成 29 度実績から 1 ポイント上昇したものの、目標値 53％に対しては 9 ポイント下回る結果となりました。

これまでの取組をとおして COC+ の活動は学生に徐々に浸透してきており、県内企業から大学等への求人件数も本プロジェクト開始前に比べて大幅に増加しています。また、県外企業に比べて出遅れ感があった県内企業の採用活動時期も以前より早期化が見られるようになりました。

その一方で、昨今首都圏企業を中心とした県外企業では、採用の通年化に向けていわゆる 1day インターンシップなど多種多様な採用活動が盛んに展開されるようになってきており、学生の関心が県外企業に向く傾向が続いているようです。

地元就職が学生の選択肢の一つとなるよう、本プロジェクトでは引き続き今後も大交流会や企業見学バスツアーなど県内企業の魅力を知ってもらう取組をとおして学生の地元定着に向けた機運醸成を図っていきます。

	平成29年度実績値	平成30年度	
		目標値	実績値
県内参加高等教育機関県内就職率	43％	53％	44％